

講師



小和田 哲男氏



小野田 伸氏



東野 将伸氏

岡山大学附属図書館では、備前池田家が襲蔵していた約10万点に及ぶ古文書類「池田家文庫」を所蔵しています。

本学では、この池田家文庫史料の保存・利活用の促進をはかるため、史料のデジタル化等を実施してきました。この度、国文学研究資料館とも連携してマイクロフィルムからのデジタルコンバートを行い、「国書データベース」にて公開されたことを記念して、「池田家文庫」やデジタル化された古文書等について広く地域の方に紹介するための講演会を開催します。

お申し込み方法

岡山大学公開講座案内より
ご応募ください

※電話・郵便等での受付は行いません



お申し込みサイト

お申込み期間

令和6年9月9日(月)
～10月31日(木)

但し、定員に達し次第締め切ります

岡山大学公開講座

池田家文庫「信長公記」の時代と
デジタル化された古文書の世界



入場
無料

日時

令和6年

11/14(木)

13:00～16:30 受付開始 12:00～

場所

岡山大学創立五十周年記念館
金光ホール

岡山市北区津島中1丁目 1-1

利用者駐車場はありませんので、
公共機関を利用してご来場ください



アクセス

定員

250名(要事前申込)

岡山大学附属図書館

お問い合わせ先

附属図書館 学術情報サービス課 調査相談グループ

☎086-251-7322 ✉FBG7322@adm.okayama-u.ac.jp

講演会次第

開会挨拶

岡山大学理事(デジタルトランスフォーメーション・グリーントランスフォーメーション担当)・
上席副学長
阿部 匡伸氏

基調講演

13:10~14:20

「信長公記」の時代と池田氏
静岡大学名誉教授
小和田 哲男氏

休憩
15分

講演

14:35~15:20

地域資料としての池田家文庫
前 岡山シティミュージアム館長
小野田 伸氏

休憩
10分

講演

15:30~16:15

古文書のデジタル化・
データ公開とその活用
学術研究院社会文化科学学域准教授
東野 将伸氏

閉会挨拶

岡山大学附属図書館長
甲賀 研一郎氏

講師プロフィール



おわだ てつお
小和田 哲男

1944(昭和19)年、静岡県静岡市生まれ。早稲田大学大学院文学研究科博士課程満期退学。1985年文学博士(早稲田大学)。

現在、静岡大学名誉教授、日本城郭協会理事長、岐阜関ヶ原古戦場記念館館長。専門は日本中世史。主な著書として「小和田哲男著作集 全7巻」、「後北条氏研究」の他多数あり、戦国時代史研究の第一人者として知られる。また、テレビ、YouTubeで歴史について親しみやすい解説をされており、さらにNHK大河ドラマの時代考証も度々手がけている。



おのだ しん
小野田 伸

1963(昭和38)年、岡山県岡山市生まれ、岡山大学文学部卒業。岡山市役所へ入庁。

学芸員として岡山市立オリエンタル美術館や、岡山市デジタルミュージアム開設準備室、岡山シティミュージアム勤務、2020年4月からは岡山市観光振興課にて岡山城展示改修担当。2023年4月から岡山シティミュージアム館長。現在も岡山市観光振興課学芸員として岡山城の展示等を担当。



ひがしの まさのぶ
東野 将伸

1987(昭和62)年、香川県高松市生まれ。岡山大学文学部卒業、同大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程修了、大阪大学

大学院文学研究科博士後期課程修了。博士(文学)(2017年3月、大阪大学)。

現在、岡山大学学術研究院社会文化科学学域准教授。日本近世史を専門とし、特に地域社会、金融、経済、民衆思想などを研究している。主な著作に「高利貸しか融通か」(多和田雅保・牧原成征編『日本近世史を見通す5 身分社会の生き方』吉川弘文館、2023年)、「近世後期から明治期における質屋業と高額貸付一備中国後月郡を事例に一」(『日本歴史』885、2022年)、「近世後期の地域経済と商人一備中国南西部と大坂との関係を中心に一」(『日本史研究』679、2019年)などがある。